

経 済 統 計 学 会

第59回(2015年度)

全 国 研 究 大 会 プ ロ グ ラ ム

期 間 : 2015年9月11日(金)～9月13日(日)

会 場 : 北海学園大学豊平キャンパス

日 程

研究大会	9月11日(金)	10:00～18:10
	9月12日(土)	9:30～17:00
会員総会	9月11日(金)	13:00～13:50
懇親会	9月11日(金)	18:30～20:30
理事会	9月10日(木)	16:00～18:00
統計チュートリアルセミナー		
	9月13日(日)	10:30～14:30

経済統計学会北海道支部

2015年度全国研究大会実行委員会

実行委員長 北海学園大学経済学部 水野谷武志

〒062-8605 札幌市豊平区旭町4-1-40
北海学園大学経済学部内
電話:011-841-1161(内線2739)
FAX:011-824-7729(学部事務)
Email:mizunoya@econ.hokkai-s-u.ac.jp

9月11日（金） 午前の部

9:00 受付開始（7号館 1階ロビー）

10:00 開 会

10:00～12:00 セッションA： 企画セッション 会場：7号館2階D20番教室

公的統計データの提供をめぐる最近の動向

コーディネーター：小林 良行（総務省統計研修所） 座長：山口 幸三（総務省統計研修所）

1. 植松 良和（総務省政策統括官（統計基準担当））
「公的統計の整備に関する基本的な計画」に基づくデータ提供の新たな取組について
2. 谷道 正太郎（統計センター）
調査票情報の提供等に関する新たな取組
3. 伊藤 伸介（中央大学）・星野 なおみ（統計センター）・阿久津 文香（総務省統計局）
国勢調査における匿名化マイクロデータの作成とその検証
4. 滝澤 有美（統計センター）・平澤 鋼一郎（総務省統計局）
一般用マイクロデータ（仮称）の作成及び提供形態について

10:00～12:00 セッションB： 一般報告 会場：7号館3階D30番教室

自由論題1 座長：芳賀 寛（中央大学）

1. 櫻本 健（立教大学）
将来日本の経済規模を維持する条件—ソロー残差に基づくシミュレーション
2. 飯塚 信夫（神奈川大学）
経済予測専門家の月次予測集計からわかったこと—11年間のESPフォーキャスト集計の経験から
3. 橋本 美由紀（法政大学）
家族介護者の介護時間と生活時間—介護に関する生活時間統計の充実に向けて
4. 坂田 大輔（立教大学）
インドにおけるオープンデータ利用環境の整備動向—data.gov.inにおける取り組み

12:00～13:00 昼休み

9月11日（金） 午後の部

13:00～13:50 会員総会 会場：7号館2階D20番教室

14:00～15:30 セッションC： 企画セッション 会場：7号館2階D20番教室

原発問題と北海道

コーディネーター：伊藤 陽一（関東支部）

座長：近 昭夫（九州支部）

1. 吉田 央（東京農工大学）
原子力問題と統計利用の課題
2. 小坂 直人（北海学園大学）
NIMBY 的問題としての原発関連施設
3. 伊藤 陽一（関東支部）
北海道における原発問題と再生可能エネルギー

14:00~15:30 セッションD： 一般報告 会場：7号館3階D30番教室

自由論題2 座長：菅 幹雄(法政大学)

1. 高橋 将宜(統計センター)
諸外国の公的経済統計におけるエディティングと補定に関する最新の動向
2. 鈴木 雄大(立教大学)
品質調整におけるヘドニック・アプローチ
3. 小巻 泰之(日本大学)
物価統計間の乖離について—GDP デフレーターと消費者物価指数

15:40~18:10 セッションE： 共通論題セッション：学会本部企画 会場：7号館2階D20番教室

人口減少社会における政策課題と統計—オープンデータの展開と統計GISの活用

コーディネーター・座長：菊地 進(関東支部)

1. 並木 剛(総務省統計局)
統計におけるオープンデータの高度化について
2. 奥田 仁(北海学園大学)
北海道の人口動態と地域政策課題
3. 長谷川 普一(新潟市都市政策部GISセンター)
統計情報と行政情報の統合利用による極少領域における人口推計
4. 森 博美(法政大学)
人口減少社会における統計情報と行政情報の統合利用

予定討論者： 小西 純(統計情報研究開発センター)

18:30~20:30 懇親会 会場：北海学園会館地下1階 生協食堂

9月12日(土) 午前の部

9:30~12:00 セッションF： 企画セッション 会場：7号館2階D20番教室

ミクロ統計の利用における現状と課題

コーディネーター：伊藤 伸介(中央大学) 座長：坂田 幸繁(中央大学)

1. 山口 幸三(総務省統計研修所)
副標本による標本誤差の計測
2. 石田 賢示(東京大学)・佐藤 香(東京大学)
生活時間からみたライフスタイルの階層性に関する分析
3. 佐藤 慶一(専修大学)
共変量情報を用いた無作為抽出調査とWeb調査の比較調整
4. 村田 磨理子(統計情報研究開発センター)・伊藤 伸介(中央大学)・出島 敬久(上智大学)
賃金構造基本統計調査のパネルデータとしての可能性
5. 萩野 覚(内閣府経済社会総合研究所)
企業活動基本調査を用いた企業特性別貿易統計の試算

10:00~12:00 セッションG： 企画セッション

会場：7号館3階D30番教室

統計GISと地域分析

コーディネーター：菊地 進(関東支部) 座長：上藤 一郎(静岡大学)

1. 大井 達雄(和歌山大学)
GISを用いた観光地分析の適用可能性について
2. 菊地 進(関東支部)
統計GISを用いた東温市中小企業現状把握調査の分析
3. 森 博美(法政大学)
国調と経済センサスの統合データによる小地域の労働需給力の計測
4. 小西 純(統計情報研究開発センター)
2時点間の人口変化率の集計地域単位と社会施設の関係

12:00~13:20 昼休み

9月12日(土) 午後の部

13:20~14:50 セッションH： 企画セッション

会場：7号館2階D20番教室

日本の統計史を考える—わが国統計の揺籃期

コーディネーター：小林 良行(総務省統計研修所) 座長：森 博美(法政大学)

1. 小林 良行(総務省統計研修所)
柳澤保恵と柳澤統計研究所の活動について
2. 佐藤 正広(一橋大学)
大正期の統計調査環境について
3. 尾関 学(岡山大学)
家の経済と国の経済—汐見三郎の研究から

13:20~14:50 セッションI： 一般報告

会場：7号館3階D30番教室

国民経済計算研究の新展開 座長：金丸 哲(鹿児島大学)

1. 藤原 裕行(日本銀行)
我が国SNAにおける金融機関部門の純貸出／純借入の不突合の要因について
2. 作間 逸雄(専修大学)
国民経済計算における無形資産概念の考察—暖簾概念の否定を中心に
3. 李 潔(埼玉大学)
付加価値の数量測度としてのダブルデフレーションとシングルデフレーション—日本IO表による検証を含めて

15:00~16:30 セッションJ： 企画セッション

会場：7号館2階D20番教室

日本の統計史を考える—個別調査の展開

コーディネーター：小林 良行(総務省統計研修所) 座長：佐藤 正広(一橋大学)

1. 上藤 一郎(静岡大学)
第1回国勢調査と日本の統計学—亀田豊治郎による抽出結果の学説史的意義
2. 廣嶋 清志(島根大学)
日本の年齢別人口統計の発達過程
3. 菅 幹雄(法政大学)
「事業所統計調査試験調査報告(昭和22年5月於千葉県木更津市)」について

15:00~17:00 セッションK： 企画セッション（ジェンダー統計・労働統計研究部会）

会場：7号館3階D30番教室

教育，就業，障害者とジェンダー統計

コーディネーター：伊藤 純(昭和女子大学) 座長：岩井 浩(関西大学)

1. 吉田 仁美(岩手県立大学)
高等教育への障害者のアクセシビリティ—ジェンダー統計視点を含めて
 2. 村上 雅俊(阪南大学)
女性(特に母子世帯)の就労と貧困について
 3. 坂西 明子(奈良県立大学)
女性就業の地域差とその変化についての考察
 4. 杉橋 やよい(金沢大学)
EUの男女間賃金格差の測定方法に関する方針—紹介と検討
- 予定討論者： 福島 利夫(専修大学)

17:00 研究会 閉会

9月13日(日)

10:30~14:30 統計チュートリアルセミナー：学会本部企画

経済統計学会・総務省統計局・統計研修所・法政大学日本統計研究所 共催

会場：7号館3階D30番教室

公開講演会（参加費無料）

自治体における行政情報の統合利用と統計

—人口減少社会における政策と行政・統計情報の新たな関係—

司会・進行： 菊地 進(関東支部)

10:30 開会 森 博美(法政大学日本統計研究所所長)

10:40 公的統計データの利活用等の推進

中原 和郎氏(総務省統計局統計情報システム課)

11:20 北海道の人口ビジョンについて

中村 昌彦氏(北海道総合政策部人口減少対策局地域戦略課)

休憩 12:00~12:30

12:30 森町のオープンデータ

山形 巧哉氏(北海道森町総務課情報管理係)

13:10 オープンデータ推進で室蘭市が変わる！

丸田 之人氏(室蘭市企画財政部ICT推進課)

13:50 質疑

お知らせとお願い

1. 研究大会と懇親会にかかわる同封の返信はがきは、8月14日(金)【必着】までにご返送願います。また理事の方は、理事会への出欠についても同様にご返事願います。
2. 研究大会の参加費(報告要旨集代金を含む)は、一般会員 3,000 円、院生会員 1,000 円、非会員 4,000 円です。懇親会費は 4,000 円(院生会員 2,000 円)を別途いただきます。
3. 報告者の方は、電子メールでお知らせする要領で、「報告要旨集」の原稿の送付をお願いします。また報告要旨は、下記の学会ホームページで公開します(8月中旬以降の公開予定)。経済統計学会ホームページ：<http://www.jsest.jp/jp/>
4. 会場配布資料などの事前郵送を希望される方は、9月4日(金)【必着】までに、本プログラムの表紙記載の住所(担当:水野谷)に送付ください。確認のため、送付された方は mizunoya@econ.hokkai-s-u.ac.jp までご連絡ください。
5. 報告時間は1報告 30 分とします(質疑時間を含む)。企画セッションでは、報告時間の配分・運用が異なる場合がございます。詳しくは各セッションのコーディネーターにご確認ください。会場では PowerPoint など(Office 2013)によるプレゼンテーションが可能です。セッション開始前に準備した PC にファイルをコピーしますので、報告者はファイルを USB メモリ(事前にウイルス対策ソフトによるチェックを済ませておいてください)に入れ係員にお渡しください。
6. 報告会場では飲食ができません。別に用意する控え室(当日掲示)をご利用願います。なお、大会期間中の昼食については9月11日のみ大学生協食堂が利用できます。9月12,13日については各自ご用意いただくか、会場近辺にある限られた飲食店(当日に地図を配付します)などの利用をお願いします。
7. 理事会を下記の要領で開催します。
日時: 9月10日(木) 16:00より
場所: 北海学園大学豊平キャンパス研究棟 10階第3会議室
8. 各委員会・研究部会の会合は、9月12日昼休みまでに実施をお願いします。
mizunoya@econ.hokkai-s-u.ac.jp(水野谷)まで事前に時間・人数を連絡いただければ、部屋の調整をいたします。
9. 北海学園大学豊平キャンパスへのアクセスには地下鉄東豊線をご利用願います。「さっぽろ駅」(JR札幌駅)から5分(「大通駅」から4分)の「学園前駅」で下車し、3番出入口からお進みください。なお宿泊については、各自で御手配ください。
10. 不測の事態により、研究大会が予定通り開催できない場合には、学会ホームページや一部の支部ではメーリングリストなどにて本会の対応をお知らせします。また、プログラム発送後の研究大会にかかわる更新情報のお知らせも学会ホームページ等にて行いますので、随時ご確認ください。

経済統計学会 2015年度全国研究大会

プログラム委員

北海道支部	古谷次郎(北星学園大学)	北海道支部	水野谷武志(北海学園大学)[長]
東北支部	深川通寛(石巻専修大学)	関東支部	伊藤伸介(中央大学)
関西支部	村上雅俊(阪南大学)	九州支部	西村善博(大分大学)
九州支部	松川太一郎(鹿児島大学)		